

混乱招く経産省への移管

「射幸性を規制する権限」など

民主党娯楽産業健全育成研究会（娯楽研）の遊技業に関する法律案（遊技業法案）について、日遊協は

12月1日に開かれたパチンコ・パチスロ産業21世紀会で、法案の問題点を指摘した。同法案は6月16日の民主党娯楽研の会合で提出され、9月中旬から10月下旬にかけて全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAのホール関連5団体に個別に説明されている。

日遊協が指摘する法案の特徴と問題点は下記の通り。（なお、この問題点の〇内は、パチンコ・パチスロ21世紀会当日に配布された資料に記載された部分）

風営法から分離 産業全体を立法

1 特徴

産業振興の側面

第1条に目的として記載されているように、風営法から分離して

経済産業省との共管を図ることに
より、産業としての振興を図ること
を打ち出している。

経産省との共管

国家公安委員会との共管として、
経産省が加わり、遊技機の射幸性
の基準については、経産省所管と
するほか、新たにホール以外に「遊
技関連営業」を規定し、経産省の
所管としている。

遊技業の総合立法化

現行法はホールを中心とした規
定であり、遊技機の基準の効果と
して、メーカー・販社等にも規制
が及ぶ構造であるが、今回の法案
は基本的にホールプラス遊技関連
営業として遊技業全体の総合立法
化を目指している。

問題点は法案の 根幹にかかわる

2 問題点

今回の法案は以上のような要素

を持つているが、大きな問題点を
抱えており、その問題点がいずれも
この法案の根幹にかかわる部分で
あるといえる。以下、その問題点
について記述したい。

経産省との共管は、 その体をなしていない

〈経産省設置法では、目的は「産
業の振興」であるが、それに叶う
条文は抽象的なものが1か所（第38
条あるのみ）であり、しかもその対
象はメーカーのみである。その他
の「遊技関連営業」についても規
制のみであり、経産省にふさわし
い規定は全くない。また、説明等
では、公的融資の可能性について
言及しているが、風営法の他業種
では認められているものもある〉

法案では、第38条で、「遊技機製
造業又は遊技機周辺機器製造業の
振興を図るための措置を講じなけ
ればならない」とされているだけで、

具体的な措置が記載されていない。
立法とは、本来は何をすべきかを
要綱としてまとめ、その上で法
文の作成を行うものであり、「こ
れから考えていく」では、本来何
を目的にした立法なのか判らず、
分離それ自体が目的としか思えない。
現在のよう、補助金が削減さ
れている状況では、経産省におい
て有効な政策が打ち出される可能
性は低いと思われる。

「遊技関連営業」のくくりが 乱暴だよね

〈関係が薄いものまで規制して届
出制にしている。届出制にする以
上は、何らかの行政措置を伴うも
のであるが、罰則のみであり、届
出制にする趣旨が薄弱だ。また、
「遊技機運送業」などは条文に該
当するものが全くないし、周辺機
器などで企業により遊技関連の比
率が少ないところは意識がない可
能性があり、対象範囲がかなり不
明確になる〉

この罰則の前提は、不正をして
いるのは正規の業者であることが
前提になるが、アウトサイダー、
ゴト師らの行為をこの条文で規制
するのは難しい。この条文に記載
されている事項を適切に規制しよ

うとするのであれば、遊技関連営業業者でなく、「何人も」とすべきであるが、そうすると届出制の意味は全くなくなる。

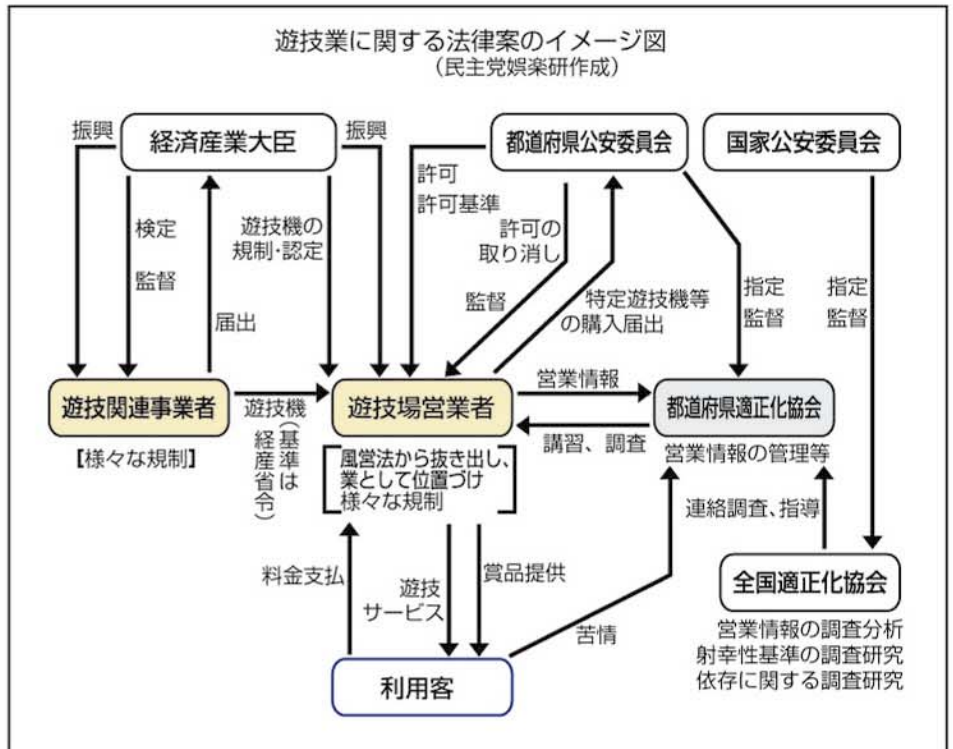
射幸性の基準や 検定規則を経産省所管に 移すのはおかしい

「単純に「製造だから経産省」、或いは「行政と取締りの分離」と考えたものと思われるが、善良な風俗を維持するための射幸性を規制する権限が経産省にあるとは思われない。あるというのであれば産業振興の見地からであり、射幸性を大幅に緩和する等、然るべき必要性が説明されねばならないが、今までのパチンコ産業の歴史は、射幸性が高まりフィーバーすることにより、世論の批判を浴びて規制が強化される繰り返しではなかったのか」

自動車为例にとると、自動車の製造については経産省が所管しているが、自動車をいかに安全に運転できるように製造するかを規定した「保安基準」は、国土交通省(旧運輸省)の所管である。この例だけでも、不合理であることが分かる。また、現場で次のような不合理が生ずる。

二重行政の恐れがある

●射幸性の規制を経産省に移管することにより、現場での混乱が予想される。遊技機について変更承認等の申請・届出については、経産省の定めた基準(射幸性の規制)に基づいて公安委員会が処理する規定になっているが、ある官庁の権限事項を他の役所が下請けする



ことはあり得ない。

同様に、広告伝の規制も経産省となるほか、不正対策についても経産省が第一次的に責任を負うことになる。これらの事象に対して、プロックに数人の人員しか確保できないと思われ、経産省が、迅速的確に対応できるか疑問である。

●アウトサイ

ダー、抜け駆け等が払拭されていない現状では、警察の取締りの必要性は依然高いと思われるが、検定規則を所管せず、かつ販社・メーカー等に対して行政責任を負わなくなる警察が、取締りを現行より減少させていくことは必然であると思われる。この場合、経産省が果たした的確に対応できるのか

疑問である。また、混乱が生じた場合、経産省と警察とで責任の所在が不明確になる恐れが強い

射幸性の判断は、この業界を貫いている太い軸といえる。現在、メーカー・販社は直接公安委員会の所管ではないが、この基準を基にホールも含めた一貫した規制・指導を受けているといえる。これを経産省に移管するということは、単に遊技機の基準にとどまらず、すべての部分に影響と混乱が生じてくるといえる。上記の記述部分以外でも、営業許可申請には遊技機が絡むし、賞品についてもどちらの所管となるか不明である。

また、「なぜこの時期に法案を提出するのか」といった疑問には、関係者は、「カジノ法案が上程されれば、『パチンコはどうなっているのか』との質問が必ず出るから」と説明しているが、その方々は換金合法化を主張している方であり、矛盾が生じる。法案の第25条では、現行では条例レベルの「買い取り行為の禁止」を法レベルに格上げしている。これは、むしろ「換金の合法化は全く考えていない」と改めて宣言したに等しい。

日遊協が問題点を指摘

娯楽研遊技業法案、今後も議論継続

遊技産業界全体に関連する課題を横断的に話し合うための、パチンコ・パチスロ産業界21世紀会が12月1日、全日遊連本部会議室で開かれた。出席したのは全日遊連、

日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会、補給組合、メダル工業会、同友会、余暇進、PCSA、認証協、PSAの14団体の代表者。21世紀会の開催は7月1日以来半年ぶりとなる。

民主党娯楽研の遊技業法案について協議した。同法案について、ホール5団体は同党娯楽研から既に説明を受けており、先ず、全日遊連が説明された内容を報告、次いで日遊協が同法案の問題点を指摘した。

その後、フリートーキングで各団体が意見を出し合った。その上で「せっかくの機会でもあるので長いスパンで議論して行こう」とする意見が出され、今後も続けて議論していくことを申し合わせた。(16、17ページに、日遊協が指摘

する民主党娯楽研の遊技業法案の問題点)

RSN支援額を決める

全日遊連から要請があった、パチンコ依存症問題の電話相談機関「NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」への支援について協議し、14団体で計2800万円の支援を決めた。このうち認証協、PSAの2団体が27万円を支援し、残る2773万円をホール5団体と全機連(遊技機メーカー、販社、周辺機器)が折半(各1386万5000円)して支援することに決まった。今後、ホール5団体と全機連それぞれの内部での金額配分を事務レベルで調整する。RSNは06年4月に設立され、パチンコ・パチスロへの過度のめり込み問題に特化した電話相談事業を行っている。相談件数は月平均100件を超え、スタッフの増員が必要で、そのための支援要請となっていた。

恒例の「パチンコ・パチスロ産業界賀詞交歓会」を、1月25日、東京・新橋の第一ホテル東京で開くことを申し合わせた。同賀詞交歓会は毎年開かれ、今回が3回目。21世紀会を構成する14団体の関係者のほか、警察庁、遊技産業健全化推進機構、業界誌等のマスコミ関係者などを含めて約450人の参加が予定されている。

日遊協遊技機開発委員会が中心になって来年2月26日に東京・すみだ産業会館で開く「ぱちんこ&パチスロフェスタ」に対して、14団体が後援していくことを決めた。

遊技機健全化委員会
12月17日
本部会議室
出席委員等15人

春までに改定作業終了 不正対策マニュアル冊子

作業分担のため、①不正対策マニュアル小冊子改定作業チーム
②11年度不正対策勉強会プロジェクトチーム
③不正をされた際にすぐに報知が行われる機械台の開発チーム——3チームに分かれて話し合った。



3チームに作業分担した遊技機健全化委員会

不正対策マニュアルの小冊子は日遊協が教材用に96年に作成、以来04年までに5回の改訂が行われているが、実例で取り上げている遊技機等が古くなり、実情にそぐわなくなっている。チームでは春頃までに改訂作業を終えたいとしている。不正対策勉強会の開催は日遊協として今年が3年目となるが、より多くの参加者を集めるため、出来るだけ地元の組合と連携していく方針を確認した。不正をされた際にすぐに報知が行われる機械台の開発については、遊技機から出ているエラー信号をホールが受けて対応できるようにする仕組みを考えていきたいとしている。

遊技機開発委員会

12月17日
本部会議室
出席委員等24人

離反層など30人予定

「もっと楽しく、もっと遊べる」試打会

パチンコ・パチスロ遊技をやめた離反層と現在のファン層とを対象に、2月26日に東京都墨田区江東橋、すみだ産業会館のサンライズホールで開かれる試打会の概要が固まった。内容は、現行機種と試作機の試打体験、体験後の意見・感想の聴取とアンケート調査、遊



展示予定の試作機を試打する遊技機開発委員たち

技機アワードの表彰の3点で構成される。正式名称は「もっと楽しく!! もっと遊べる!! ぱちんこ&パチスロフェスタ(2011in 東京)」と決まった。

参加対象となる離反層と現在のファン層は計約300人が予定されている。試打体験コーナーで展示される遊技機は、現行機種のパチンコ(CRAA機)、パチスロ、試作機のパチンコ、パチスロ合計50〜70台程度。現行機種は、確率が甘く短時間で当たりやすい機械が展出される。試作機は新しいコンセプトの低射幸性機で、検定機と区別するために「日遊協コンセプト機」などの証紙を貼って展示する。この日、出展予定のパチンコ試作機2機種が委員会に設置され、委員たちが試打した。

デイスカッションコーナーでは、試打体験した参加者から感想・意見を聞き、アンケート調査を実施する。感想・意見、アンケート調

査結果は、今後の遊技機開発と、業界の更なる健全化への取り組みの参考としていく。

7部門でアワード

遊技機アワードのカテゴリーは、パチンコが「CRAA甘デジ部門」「遊パチCRAA部門」「ミドル部門」「ハイ部門」「羽物部門」の5部門、パチスロが「Aタイプ部門」「Aタイプ以外の部門」の2部門。各部門での優秀(人気のあった機種、楽しんでいた機種、よく遊技された機種など)な上位3機種を表彰する。

選考は、2010年末に各メディアで実施しているファンの人気投票結果をベースに、ホール5団体の遊技機委員会実務者(代表者)、ファン雑誌発行者(編集長)、パチンコ・パチスロ特集面があるスポーツ紙各社、パチンコ・パチスロ関連WE Bメディア等が投票して決定する。また、当日の会場では業界のエコや健全化等への取り組みをアピールするためのパネル展示を行う。この催しは、日遊協が主催し、業界13団体とパチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会(6社)が後援、日遊協会員各社、会員遊技機メーカー各社等が協賛する。

人材育成委員会

12月10日
本部会議室
出席委員等10人

ブース出展で手ごたえ

2011年度の活動計画と課題について協議した。5回目となる遊技産業マネジメント・カレッジについては、開催方法は概ね前回までのやり方を継続し、共生の森での体験活動を盛り込むことを決めた。特別講演については、前回は(有)てっぺん代表取締役、大嶋啓介氏を講師に招いたが、今回も行うことにして人選を急ぐことになった。また、支部活動の活性化のため、地方でのマネジメント・カレッジ開催も考えていくことにした。

東京ビッグサイトで11月6、7日行われた「リクナビLIVE★開幕LIVE東京」での日遊協展示ブース「パチンコ業界特集」の総括と、11年度に再び参加する際の課題を出し合った。今後に向けて、展示や配付資料の充実、さらにブースで説明を受けた学生の中でメーカーについて聞いた人が何人かいたことから、メーカー関連の説明要員も必要との意見が出ていた。

社会貢献・環境対策委員会

12月10日
本部会議室
出席委員等19人

9月に親子で下草刈り 来年は植林せず、 整地作業に重点

来年度の活動についてグループに分かれて協議した。活動4年目となる共生の森について、11年の植林は行わず、6、9月の2回の下草刈りなどを含めた整地作業を重点に置くことになった。このうち9月に予定される2回目の下草刈りは、同時期に開かれる第5回遊技産業マネジメント・カレッジの研修生の手を借りるとともに、親子連れを招待して子どもが参加して楽しめるイベントを企画する予定。イベントの内容は今後検討していく。

植林は1回目(08年)に350本、2回目(09年)に400本、3回目(10年)に250本の苗が植えられている。1年間整地作業を行った後、最終植林にあたる12年にクリなど実のなる樹木を植える。その後5年間、日遊協ボランティア派遣隊、社会貢献・環境対策委員会、地元の森林サポーター等の手を借りて手入れを続け、10年間で木立が整然として採光が行き届き、生



来年度の共生の森、環境フォーラムなどを話し合った社会貢献・環境対策委員会

き生きした里山を育て上げる計画となっている。

上映、展示、表彰など 「環境フォーラム2011」

同委員会が主催する「環境フォーラム2011」は、3月30日に東京・新宿のハイアットリージェンシー東京で東京都・関東支部総会と合同で開かれる予定だが、その内容案が提示された。それによると ①社会貢献活動(共生の森のビデオ上映とパネル展示) ②環境対策活動(エコホール宣言の報告、

セミナー、ポスター・パネル展示ほか) ③展示(エコグッズ・機材、省エネ遊技機表彰ほか) ④認知度UP活動結果表彰——となっている。さらに検討を続ける。フォーラムは東京の後、福岡、名古屋での開催が予定されている。また、来期に向けてフォーラムを大型化していく方針が話し合われた。

広報委員会

12月2日
本部会議室
出席委員等13人

ツイッターの利用を検討 「エッセー・絵手紙」のPRで

「第1回パチンコ・パチスロ「エッセー・絵手紙」コンクール」を一般・業界に浸透させる方法の一つとして、ツイッターの使い方が



「エッセー・絵手紙」コンクールなどで議論した広報委員会

議論された。ツイッターのコメントはあらかじめつくられているものが機械的に発信されるだけでは飽きられてしまうので、例えば委員会のメンバーがナマの形で有益な情報をつぶやく仕組みが必要など、運用面での意見が出され、さらに検討していくことになった。

募集で集まった絵手紙作品の利用方法、PRの展開方法についてアイデアを出し合った。来年度の事業計画について議論した。

経営改革委員会

12月14日
本部会議室
出席委員等15人

労働問題は小委員会で

重点課題として挙がっている消費税問題と労働問題のうち、労働問題については小委員会方式で議論していくことを申し合わせ、テーマの絞り方、現行の問題のポイント等を議論した。参考として、委員会メンバー等が聴講した労働問題に関する2つのセミナーの資料が提出された。また、フリートキキングで禁煙・分煙問題を含めた最近の厳しいホール環境について意見を述べ合った。

「パチンコ博物館」が閉館 上野名物も資金難に勝てず

東京・東上野「パチンコ村」の名物、「パチンコ博物館」(牧野哲也館長)が、年の瀬の12月29日に閉館した。04年9月にビルの3階で開館した同博物館は、パチンコの歴史的な名機148台を常設展示し、昔楽しんだ台を懐かしむファンや名機の仕様などを勉強したい若い技術者たちを、6年間にわたってひきつけてきた。しかし、格安の家賃で博物館の運営に協力してくれていたビルが賃料を値上げせざるを得ない状況となり、安い移転先



閉館を控えて、牧野さんが愛機たちを見る目はやさしい

も見つからず、「非営利の博物館を個人で運営していくのは困難」(牧野さん)となった。設備、収蔵品等は、今後の再開に備えて支援企業のヤワタグループが暫定的に保管することになった。

館長の牧野さんは、小学2、3年生の頃、デパートの屋上のゲームコーナーにあった手打ち式パチンコ台で遊んでパチンコに夢中になった。5年生のときに漫画雑誌の中古機通信販売の広告を見て、小遣いを貯めて1台買ったのが「コレクター」歴の始まり。収集も最初は単なる趣味として好きな台だけ集めていたが、それに飽きたらず戦後間もなく世に出た台や、日本ではほとんど入手困難な台を含めて各年代の代表的な機種を、全国行脚して自費で買い集めた。

牧野さんの思い入れと企業の協力で運営して

牧野さんはパチンコへの思い入れが強まる中で、パチンコ文化の歴史をきちんと保存し、その足跡を残しておきたいという意欲にか

られた。「パチンコは庶民の間で脈々と受け継がれてきた文化のひとつです。業界の人たちが自分たちの歴史を再確認でき、一方、ファンの人たちが懐かしい思い出で交流ができるような場所をつくれたら」という牧野さんに、ビル内のスペースを提供した(株)山下商会、牧野さんが一時籍を置いたパチンコWAKOチェーンを持つヤワタグループなどが支援し、博物館開設が実現した。

開設当時、牧野さんの所蔵は360台程度だったが、牧野さんの活動を知って珍しい台を寄贈してくれる人もあり、所蔵数はパチンコ機が約1000台、パチスロ機も含めれば約1150台に増えた。博物館にはスペースの関係でパチンコ機148台が時代を追って展示された。入場料一般600円で、延べ3万人が訪れた。

個人の活動に頼る現状 大産業なのに問題では

「業界の組合が創立何周年かの記念誌などを編纂するとき、昔の機械の関係でうちによく相談に來られ、こちらも出来る限りご協力させてもらいました。しかし、30兆円ともいわれた大産業なのに、

1月の行事予定	4日(火)		仕事始め
	11日(火)	13:00~15:00	流通制度委員会
		15:30~17:00	経営改革委員会
	13日(木)	11:00~12:30	支部強化委員会(グランドアーク半蔵門)
		13:30~15:30	理事会(同)
		16:00~17:00	臨時総会(同)
	14日(金)	17:45~19:30	新年祝賀会(同)
		15:00~17:00	人材育成委員会
	18日(火)	15:00~17:00	社会貢献・環境対策委員会
		13:30~	リサイクル推進委員会
	21日(金)	13:30~15:00	遊技機開発委員会
		15:30~17:30	遊技機健全化委員会
	24日(月)	10:00~17:10	取扱主任者更新講習・試験(都市センターホテル)
	25日(火)	10:00~16:50	取扱主任者新規講習・試験(都市センターホテル)
17:45~		パチンコ・パチスロ産業賀詞交換会(第一ホテル東京)	
26日(水)	13:30~16:00	セキュリティー対策委員会	

その歴史を語る資料が私のような個人的な収集家以外にほとんどまともな存在しないことがおかしいのです。業界団体が主導する公的な機関で資料をまとめるのが望ましいと思っています。私は集めた台や文献等について、個人所有にこだわりません。私の資料を含めて博物館として集め、私は黒子としてそれを応援できればいいなと思っています」と牧野さん語っている。